

事業団における過去 15 年間の喀痰細胞診成績と 職域発見肺癌の 1 例

山梨県健康管理事業団 今村辰雄 伊奈政彦 高山美佐子

山梨県立中央病院 高相和彦

要旨：山梨県健康管理事業団で、昭和 63 年～平成 14 年に住民検診の肺癌検診として実施した喀痰細胞診検査 15 年間の成績と職域検診で初めて発見された肺癌 1 例を報告する。

キーワード：喀痰 15 年間、I 期率、ハイリスク対象者、職域発見肺癌

喀痰細胞診対象者

対象は、50 歳以上で、喫煙指数 600 以上、その他 6 ヶ月以内に血痰のあった者、既往歴等を考慮して、ハイリスクとしているが、実際には各市町村の独自の考え方があり、希望者を多く含めるところと、含めないところがある。

検査方法

3 日間蓄痰するマルチブレンダー法で行っている。粘液融解剤の入った広口容器で喀痰が入れ易く、サコマノのホモジナイザーにも直接かけられるという利点がある。

判定基準

日本肺癌学会の「集団検診における喀痰細胞診の判定基準と指導区分」を使っている。ABCDE の 5 つの区分を用いて分類し、それぞれの指導区分に従って結果報告をしている。

喀痰細胞診総数と精検状況

以上のような方法で、事業団で実施した過去 15 年間の喀痰細胞診総数は 45,852 名で、要精検者は D 判定 - 37 名、E 判定 - 19 名、合計 56 名で要精検率は 0.12% であった。56 名中 50 名が精検を受診し受診率は 89% で、うち発見肺癌数は 30 名、発見率は 10 万

対比 65 であった。また、受診総数 45,852 名の中でハイリスク対象者は約 43% であった。

ハイリスク

- 50 才以上で C I 600 以上
- 6 ヶ月以内に血痰のある者
・既往歴・家族歴・希望者

発見肺癌症例

過去 15 年間で肺癌が発見された 31 名（職域 1 名を含む）について見ると、年齢は 52～81 才（平均 68 才）、50 代 4 名、60 代 11 名、70 代 14 名、80 代 2 名であった。性別は男性 30 名、女性 1 名で、集検時の X-R 所見は 5 名が要精検、4 名が比較読影まで、5 名が未受診、17 名が陰性であった。組織型は一部腺癌を含む扁平上皮癌 21 名、腺癌 7 名、小細胞癌 1 名、組織型不明 2 名であった。小細胞癌と不明を除いた 27 名の臨床病期は、I 期が 15 名で I 期率は 56% であった。また 31 名のうちハイリスク対象者は 29 名で、対象外で発見されたのは 2 名、2 名とも腺癌であった。

精検受診状況

区分	63年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	小計
細胞診実施数	1750	2730	2944	3087	3742	3831	3803	3473	3640	3289	32289
D-判定	3	2	(1) 2	2	5	4	4	5	1	3	31
E-判定	1	2	3	2	2	2	1	1	0	1	15
要精検者数	4	4	5	4	7	6	5	6	1	4	46
要精検率 %	0.23	0.15	0.17	0.13	0.19	0.15	0.13	0.17	0.02	0.12	0.14
精検受診者数	4	4	5	2	6	6	4	4	1	4	40
精検受診率	100	100	100	50	86	100	80	67	100	100	87
発見肺癌数	2	1	5	2	3	3	(1) 3	4	1	1	25
発見率(10万対)	114	37	170	65	80	80	79	115	28	30	77

区分	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	合計
細胞診実施数	2582	2643	2776	2997	2565	45852
D-判定	0	1	2	2	1	37
E-判定	0	1	1	0	2	19
要精検者数	0	2	3	2	3	56
要精検率 %	0	0.07	0.11	0.06	0.11	0.12
精検受診者数	0	2	3	2	3	50
精検受診率	0	100	100	100	100	89
発見肺癌数	1	1	(1) 1	0	2	30
発見率(10万対)	39	38	36	0	78	65

- 小計は10年間、合計は15年間の集計である
- H2年度の()は検診以前にCa.があったが告知を受けてなかった
- H5,6年度の()は原発性肺癌以外の喉頭癌 2、食道癌1である
- H10年度の発見肺癌はC判定からである
- H12年度の発見肺癌()は職域検診である

発見肺癌症例 ①

No.	性別	年齢	判定	検診時X-R	組織型	臨床病期
1	男	73	E	(-)	扁平上皮癌	I期 T1N0M0
2	男	77	D	(-)	扁平上皮癌	ⅢA期 T1N2M0
3	男	81	E	比較まで	扁平上皮癌	I期 T2N0M0
4	男	73	D	比較まで	腺癌	Ⅳ期 T2N3M1
5	男	69	E	(-)	扁平上皮癌	I期 T1N0M0
6	男	74	E	(-)	扁平上皮癌	ⅢB期 T2N3M0
7	男	67	E	要精検	扁平上皮癌	I期 T1N0M0
8	男	63	D	未受診	扁平上皮癌	I期 T1N0M0
9	男	70	E	(-)	扁平上皮癌	Ⅱ期 T1N1M0
10	男	73	D	要精検	扁平上皮癌	I期 T1N0M0
11	男	62	E	(-)	扁平上皮癌	進行癌
12	男	52	E	(-)	扁平上皮癌	I期 T1N0M0
13	男	73	D	(-)	扁平上皮癌	I期 T1N0M0
14	男	73	E	(-)	腺癌	I期 T2N0M0
15	男	72	E	(-)	扁平上皮癌	ⅢA期 T1N2M0

発見肺癌症例 ②

16	男	57	D	未受診	右肺癌	不明 (手術施行)
17	男	66	D	要精検	小細胞癌	Ⅳ期
18	男	62	E	(-)	扁平上皮癌	Ⅱ期 T2N1M0
19	男	71	D	(-)	扁平上皮癌	Ⅰ期 1N0M0
20	男	68	D	未受診	扁平上皮癌	Ⅰ期 T1N0M0
21	男	72	E	(-)	腺 癌	Ⅳ期 T3N3M1
22	男	74	D	要精検	扁平上皮癌	Ⅳ期 T3N0M1
23	男	68	D	(-)	扁平上皮癌	Ⅰ期 T2N0M0
24	男	70	D	比較まで	腺 癌	Ⅰ期 T2N0M0
25	女	68	E	未受診	腺 癌	不明 (手術施行)
26	男	78	C	比較まで	腺 癌	不明
27	男	60	E	(-)	扁平上皮癌	ⅡB期 T2N1M0
28	男	57	D	未受診	扁平上皮癌	Ⅰ期 T1N0M0
29	男	53	E	(-)	腺 癌	早期癌
30	男	81	E	要精検	非小細胞性肺癌	ⅢB期 T2N3M0
31	男	64	E	(-)	扁平上皮癌	ⅢB期 T2N3M0

職域発見肺癌例

健康管理事業団では昭和 63 年から 15 年間で、職域における肺癌検診として延べ約 6000 人の喀痰細胞診を実施し、平成 12 年に初めて肺癌 1 名を発見したので報告する。

症例

57 才、男性（集検時）

喫煙指数：1480

平成 12 年 7 月 喀痰結果-D 判定

X-R 所見 平成 11 年度-陰性

平成 12 年度-未受診

平成 12 年 8 月 24 日精検目的で山梨県立中央病院を受診。受診時胸部レントゲン写真、CT、喀痰細胞診検査では異常を認めなかったが、9 月 14 日に実施した気管支鏡検査で右 B 6 入口部の発赤と、左 B 10 気管支 spur の肥厚を認めた。擦過細胞診検査では两部分にクラス V-扁平上皮癌、生検では左 B 10 部分に扁平上皮癌を認めた。

結果

右-B 6 c T 1 N 0 M 0 I A

左-B 1 0 c T 1 N 0 M 0 I A

の重複癌と診断され、PDT 目的にて東京医科歯科大学病院へ紹介された。

12 年 10 月 PDT-光線力学療法

12 年 11 月 退院

12 年 12 月 職場復帰

（約 50 日間休職）

平成 14 年度に退職し、現在も通常の生活を送られている。

まとめ

- 1) 山梨健康管理事業団で過去 15 年間に肺癌検診の喀痰細胞診を受診した 45,852 名について報告した。
- 2) 受診総数 45,852 名のうちハイリスク対象者は約 43%であった。
- 3) 延べ 45,852 名のうち、要精検者は 56 名、精検受診者は 50 名、30 名に癌を発見した。（10 万対比 65）
- 4) 発見肺癌 31 名（職域 1 名含む）のハイリスク対象者は 29 名、対象外での発見は 2 名、2 名とも線癌であった。
- 5) 年齢は 52~81 才（平均 68 才）、性別は男性 30 名、女性 1 名であった。
- 6) 組織型は扁平上皮癌 21 名、線癌 7 名、小細胞癌 1 名、組織型不明肺癌 2 名であった。
- 7) 小細胞癌と不明を除いた 27 名の臨床病期は I 期が 15 名で、I 期の割合は 56%であった。
- 8) 住民検診以外の職域検診で発見した肺癌 1 例を報告した。